

令和5年度 第1回 村上市図書館協議会議事録(概要)

- (1) 日 時 令和5年6月28日(水) 午前9時58分～午前11時43分
- (2) 場 所 教育情報センター 2階 会議室A・B
- (3) 出 席 7名(山口又一郎会長、板垣和伸副会長、川村久美子委員、内山愛子委員、菅原比都弥委員、藤城真二委員、中島恵美子委員)
- (4) 欠 席 1名(渡辺一洋委員)
- (5) 事務局 6名(遠藤友春教育長、平山祐子生涯学習課長、加藤渉課長補佐、(中央図書館長)、齋藤晴奈主任、川村甚一主任)

【会議次第】

1 開 会 (9:58)

(進行:加藤中央図書館長。以下、「館長」という。)

2 あいさつ

(遠藤教育長。以下、「教育長」という。)

おはようございます。本日はご多用のなか、第1回村上市図書館協議会にご参集いただきありがとうございます。

さて、県立中等教育学校2校の廃止が報道されていますが、佐渡や柏崎だけではなく、本市においても猛烈なスピードで少子化が進んでいると認識しています。

特に、令和11年度に一年生に入学予定の、昨年度出生された、いまゼロ歳児のお子さんが非常に減っており、次年度以降もその傾向が続くと推察されます。

コロナ禍の影響や経済が振るわず、子育てしにくい状況もあり、少子化が進んでいるのではとも思っております。

また、このことは、令和17年度には、中学生が減少することとなり、青少年がどんどん減っていき、総人口の減少と高齢化と相まって、社会が大きく変容してくるのではないかと思います。

このようななかで、今後の図書館はどうあればいいのかなど、将来、市民にとっての図書館サービスのあり方について、ご意見いただければと思っています。

教育委員会でも触れられていますが、現在、県と市町村で検討を進めている電子書籍システムの導入などもその一つだと思っています。

本日はよろしく願いいたします。

(山口会長。以下、「会長」という。)

皆さんおはようございます。昨年度のこの会の頃は、コロナウィルス感染症が少し収まってきつつあったようですが、その後、第6波と、また感染が広がった記憶があります。報道では、すでに第9波に入った地域もあるように言われていますが、本当に、昨年度はコロナ禍の一年でありました。

そのような状況で図書館運営も大変であったと思います。

本日は、令和4年度の活動評価、また、令和5年度の活動について検討していただくこととなります。コロナウィルス感染症については、世間全体で危機意識がなくなっているようにも感じますが、アフターコロナだけでなく、ウィズコロナとしても進めていかなければならないのではとも思っています。忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 新任委員及び新任職員紹介

館長 学校教育関係の本間委員の後任として、瀬波小学校 校長、藤城真二様が本年4月1日付で就任されました。

藤城委員の任期は、前委員の残任期間となります。藤城委員よりご挨拶をお願いいたします。

ー藤城委員、自己紹介ー

また、事務局職員にも異動がありましたので、自己紹介させていただきます。

ー齋藤主任、自己紹介ー

4 議事（以降、会長が進行。）

(1) 令和4年度村上市立図書館活動評価について

【資料1「令和4年度村上市立図書館の活動評価」について事務局から説明】

会長 最初に、利用状況の評価についてご意見をいただきたいと思っております。貸出冊数、予約冊数のC評価の原因は、どのようなことが考えられますか。

館長 やはり、貸出条件をコロナウィルス感染症で緩和していたものを通常の形に戻したことが影響したと考えています。

板垣副会長（以下「副会長」という。）

新規登録者の年代層はわかりますか。また、登録をやめる人の数と年代層、アンケートの時期対象等は。

館長 新規登録者層のデータはありませんが、全体的な年齢区分は、有効登録者数の年齢区分で、昨年度との比較増減でご覧いただきたいと思っております。

登録をやめる人についてですが、3年間利用がないと有効登録者としてはカウントしておりませんが、この年代別の内訳はつかめません。

アンケートは例年12月初旬に行っておりませんが、来館された利用者の方、男女、年代を問わず、趣旨を説明させていただき、行っています。約250人の方から回答をいただいています。

なお、図書館業務改善のための情報の集め方が、来館者向けのアンケートのみでよいのか、ホームページを通じた意見の聴取なども含めて検討しているところです。可能であれば、今年も11月下旬での実施を考えております。

川村委員 アンケートに記述するところはあるのでしょうか。意見も書ければよいと思いますが。

館長 ○で記入する項目以外に記述欄はありますが、書きやすくする工夫も必要だと思っています。

会長 利用状況などの評価については、記載のとおりの評価でよろしいでしょうか。異議が無いようであれば評価のとおり了承したいと思います。

【重点事項評価1、2について事務局から説明】

「重点事項1 読書バリアフリー法に基づく読書環境整備の推進 図書館資料整備事業」

「重点事項2 地区図書室の整備 図書館ネットワーク等事業」

会長 次に、重点事項1、読書バリアフリー法に基づく読書環境整備の推進について意見はありますか。

菅原委員 評価はBとなっていますが、点字資料、大活字本の広報周知に工夫が必要とされていますが、どのようなことをされたのでしょうか。

館長 点字資料は、昨年度整備はありませんでしたが、特に大活字本は、障害をお持ちの方だけではなく、高齢の方にもご利用いただけるもので、広報は主に市報で行っています。また、障害をお持ちの方向けの郵送サービスなどについてもお知らせしています。

点字資料の貸し出しはほとんど無いことから、今後、どのようにお知らせしていくか、工夫しなければと思っています。

また、朗読CDなどの音声資料の利用が多く、これらの整備も重要だと思っています。

副会長 福祉施設などでへの貸し出しはどのようになっていますか。また、図書館内で、バリアフリー資料の展示紹介はどのようにされていますか。

館長 福祉施設等へは団体貸出を行っていますが、図書館の司書が、大活字本などのバリアフリー資料を含め選書しています。

高齢者施設では、画像や写真、絵の多い資料なども喜ばれています。

館内での展示は、企画展示は職員が工夫して行っていますが、大活字

本は数、また利用も多いため、ある程度決まった場所、書架に展開しており、バリアフリー資料も、ある程度固定した場所での展示、紹介を行っています。

会 長 「利用が見込まれる層への広報の工夫」とありますが、どのような層か把握されていますか。

館 長 なかなか図書館単独での把握が難しいことから、市役所の他の部署などと連携して把握に努め、整備した資料の活用を図っていきたいと思っています。

副 会 長 今後、バリアフリー資料は増やしていく計画ですか。

館 長 資料自体、一般書と比べ発行数が少なく、出版情報をもとに可能な限り整備している状況で、計画的な整備は難しいと感じていますが、引き続き整備はしていきたいと考えています。

会 長 重点事項1については、評価Bとなっていますが、よろしいでしょうか。
委 員 はい。

会 長 次に重点事項2、「地区図書室の整備」についてご意見はありますか。
菅原委員 山北図書室には学習室も併設されていますので、利用されているようです。館内も新しくなり、明るく利用しやすいです。

会 長 さんぽく会館の整備に合わせたものが中心で、評価はAですが、よろしいでしょうか。

川村委員 今後、展示資料の企画をしていくとしていますが、どのようなことでしょうか。

館 長 以前、朝日図書館に行った際、公民館運営協力委員長から所蔵している資料で貴重なものが多く、市外の方からの照会、問い合わせも多く、これらの資料を埋もれさせておくのはもったいない、とのお話がありました。

同じように各地区の図書室にも貴重な所蔵資料があるのではと思いますので、これらの資料を可能な限り展示することで、地元の方の利用、また市外の方の利用も増えるのではと思っています。

川村委員 地区図書館の広報もあればいいと思います。

館 長 現在、地区図書室の広報はありませんが、今後企画するものなどは、市報など、広報も考えたいと思います。

菅原委員 例えば、山北図書室の蔵書リストなどはありますか。

館 長 登録している資料データはあります。

内山委員 中央図書館から定期的に神林地区図書室の整備に来てもらい、とてもきれいになりました。あまり子供たちの利用はないようですが、お年寄りの利用はあるようです。

会 長 重点事項2、地区図書室の整備についての評価はこのとおりでよろしいでしょうか。

委員 はい。

(2) 令和4年度 村上市立中央図書館事業実施報告について

【令和4年度 資料2「村上市立中央図書館事業報告」について事務局から説明】

会長 事業報告の資料は、昨年度との比較をされ、細かに分析されています。昨年度と比較し、減少しているところもありますが、各分野で努力されている感じが感じられました。ご質問、ご意見はありますか。

副会長 有効登録者数の目標値はありますか。また、個人利用で、地区別人口が中央図書館と村上市全体が同じになっていますが、その理由は。4月下旬に子ども読書の日がありましたが、どのような取り組みを行いましたか。また、学校とはどのように連携しましたか。

館長 有効登録者数の目標値と言うことですが、特段、定めてはおりません。市民全員の方に登録カードを持っていただくことが理想と思いますが、前年度を下回らないこと、現状を維持していくことが当面の目標であると思っています。

地区別人口につきましては、中央図書館は市内全域を対象した利用があるため、このように表示しています。

子ども読書の日については、その年に合わせた企画内容で、朝日図書館と連携して行っています。学校との連携は、開催時期が新学期早々ということもあり、なかなか難しい時季であります。

会長 子ども読書に関しては昨年度岩船小学校さんが積極的に取り組んでいらっしたようですが、学校関係はいかがでしょうか。

藤城委員 子ども読書の推進については、赴任したばかりで、各校独自の取組なのか、統一したものがあるのか不明なところですが、他校の情報なども得ながら今後対応させていただきたいと思います。

会長 学校支援がありますと、学校としても学校図書館の運営や子供たちの読書活動の推進が図られると思いますので、校長会での広報などの取り組みを進めていただきたいと思います。

内山委員 子ども読書の日のイベントで、おはなしワールドがありますが、神林でも行っていますか。

館長 中央図書館の事業報告でしたので、神林公民館の事業については記載しておりませんでした。

会長 移動図書館サービス事業で、貸出冊数は令和3年度に比べ減っていますが、何か理由はあるのでしょうか。

館長 その前の年にはコロナ禍で貸出冊数を5冊から10冊に増やして、それを元に戻した影響もあるのではないのでしょうか。

会長 事業報告について皆さんからご質問がなければ、ご承認いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

委員 はい。

(3) 令和5年度 村上市立中央図書館事業計画について

【資料3「令和5年度 村上市立中央図書館事業計画」について事務局から説明】

会長 今年度の事業計画について、重点となる事項を中心に説明いただきました。継続していくもの、拡充していくもの、とありましたが、これらの取組についてご質問ご意見はありますか。

藤城委員 学校図書室の整備について、訪問いただいて指導いただけるとのことで大変ありがたいと思います。

子どもが小さいうちから読書、本に親しむことはとても大事なことで認識しており、生涯にわたる読書習慣の基礎作りに大切なことだと思っています。

実際には、学校図書室の蔵書は限られており、古い本も多く、子供が楽しみに図書室に行くという環境にはなっていないかと思っています。いろいろご指導いただけることは大変ありがたいことです。

年間を通じて選書いただいた、子供が興味あるような本を、巡回してお借りできるようなサービスはあるのでしょうか。

館長 団体貸出制度があり、ご利用いただいている学校もありますが、まだ浸透していないところもあると思っています。

教育長 毎年、校長会でもこの制度をPRしていますので、利用いただければと思います。

会長 私も村上小学校のときに、この団体貸出を利用させていただきましたが、借り受けた本を子どもたちに読んでもらうよう、工夫して活用させていただきました経験があります。

川村委員 「学校ボランティアへの講習」とありますが、どのような内容でしょうか。以前は、簡単な本の修理などの講習もあり、学校のお役にも立たないように思いますので、そのような内容もあればと思います。

館長 継続した事業ですが、今後学校訪問の中で個々の学校のニーズを把握したうえで行いたいと思います。

副会長 登録団体への団体貸出とありますが、「地域の茶の間」など、地域のお年寄りなどの集まりがありますが、例えば、大型絵本の借用などについての貸し出しはできるのでしょうか。個人のグループや集まりなどの登録も可能でしょうか。

館長 本の汚破損などがあった場合など、事故等があった際に、その責任がとれるところを含めて登録いただいております。図書館の読み聞かせやボランティアさんのグループで登録されているところもあります。その都度判断させていただくことになると思います。

川村委員 私たちの読み聞かせグループでも、お年寄りの集まりなどに伺います

とPRし、絵本の読みきかせをしています。最近、あまりご要望はないようです。

菅原委員 ネットワーク事業の拡充について、マイナンバーカードとの連携とありますが、図書館のカードがいらなくなるということでしょうか。

館 長 図書館カードの番号とマイナンバーカードの番号を紐づけするもので、マイナンバーカードの提示で、図書館カードの代わりになるというものです。すでに図書館カードをお持ちいただいていることが前提となります。マイナンバーカードで図書館カード利用者の認証ができるというものです。

会 長 電子書籍についてですが、新潟県と、県内の市町村が研究されているとのことですが、費用負担はどのようなものになるのでしょうか。村上市が欲しいとした本の費用は村上市が負担する、というものなのでしょうか。

館 長 導入に関する費用、運用していくうえでの費用を参加する自治体で負担していくということで検討中です。

会 長 電子書籍も大事ですが、あまりコストがかかるのであれば、文字書籍の充実を図るべきなのでは、とも思います。慎重な検討が必要ではないかと思います。

館 長 電子書籍については、すでに3つの自治体が導入していますので、それらの自治体が、いま進めている県と市町村の取組にどのようにかかわってくるのか、また、同時閲覧はできるのかなど課題も多いと思います。共同、あるいは単独のメリット、デメリットも考え合わせながら検討していかなければと思っています。

会 長 先行している自治体の例も参考にしながら検討されてはと思います。

副 会 長 今年がマナポーテができて10周年に当たり、10月に公民館まつりを開きますが、図書館でも館のPRも含め、何か取り組みができましたらお願いしたいと思います。

また、図書館協議会委員対象の研修や、近隣の図書館の視察などはできないのでしょうか。ご検討いただければと思います。

会 長 それでは、「令和5年度村上市中央図書館事業計画」については、ご確認いただきたいと思います。ご承認いただけますでしょうか。

委 員 はい。

(4) 「貸出冊数及び貸出期間」について

【資料「新潟県内公立図書館貸出冊数・貸出期間について」により事務局より説明】

会 長 資料を見ますと、貸出期間は2週間ですが、ほとんどの市町村が個人貸出の冊数は10冊、団体は100冊のようです。このように改正した場合、図書館として困ることはないのですか。

館 長 コロナ禍で5冊から10冊に増やした際に、児童書の貸し出しが増えました。お子さんを中心にして家族で多く借りていただきたいと思っています。

川村委員 いいことだと思います。読み聞かせをしていますと、多く借りたい方が大勢いらっしゃると思います。是非お願いしたいと思っています。

内山委員 絵本は特に10冊はいいと思います。

藤城委員 学校も100冊はありがたいと思います。

中島委員 メリットが多く、いいことだと思います。

会 長 個人、団体とも原案のとおりでよろしいとの意見ですので、広報しながら進めていただければと思います。

館 長 規則の改正を伴い、また周知期間も必要ですので、システム更新と合わせて、11月1日からの実施を予定しています。

会 長 この件については、よろしいでしょうか。

委 員 はい。

会 長 以上で、議題は終了しました。

5 その他 事務局

ありがとうございました。事務連絡ですが、次回の協議会は、例年どおり11月中旬を予定しております。

また、県立図書館などから協議会委員向けの研修等の案内がありましたらご案内したいと思います。

現在、中央図書館で教科書の展示、郷土資料室奥のショーケースには、村上大祭のおしゃぎりの模型も展示しておりますので、合わせてご覧いただければと思います。

6 閉 会 (閉会挨拶)

副 会 長 ご審議ありがとうございました。

市民の皆さんに、よりよくご利用いただくよう取り組んでいる図書館職員の皆さんの思いが伝わりました。また、丁寧に説明いただきました。

電子書籍はじめ、図書館のデジタル化も進んでおり、課題となってくると思います。

委員の皆様には、今後ご意見やアドバイスを賜りたいと思います。また、それぞれの立場で図書館のPRをお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。本日は大変ご苦勞様でした。

(閉会 11 : 43)